

星が丘中学校だより

第1号

令和4年4月26日 発行責任者 田中芳浩



令和4年度スローガン 「気づく つながる 創り出す」

上記QRコードより、「星が丘中学校」ホームページもご覧ください。

陽 春 の 候 4月8日始業式

本校2年目になりました校長の田中芳浩です。昨年 度に引き続き、星が丘中学校の伝統を引き継ぎつつ、 より良い学校づくりに励んで参りますのでよろしく お願いいたします。

令和4年度生徒数及び学級数

4/26 現在

	1年	2年	3年	****	合計
生徒数	246	241	234	****	721
学級数	7	7	7	特別支援: 2	23

さて、4月8日に始業式を迎え、全校生721名・23学級で令和4年度がスタートしました。 今年度は、全学年ともクラス替えを行いました。生徒の皆さん、新たな仲間・担任の先生と素敵 な学級を創り出していってください。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予 想されますが、感染対策をしっかりと行った上で、教育活動を推進してまいります。ご理解ご協力 のほど、よろしくお願いいたします。

第67回入学式 4月11日(月)



246名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、式場への入場者を制限させていただいての入学式となりました。保護者の皆様には、ご理解ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。真新しい制服に身を包み、少し緊張も見られましたが、立派に式に臨むことができました。入学式の中で私からは、充実した中学校生活を送るために、「出会い」「思いやりの心」「学力・努力・協力の3つの力」を大切にすることを伝えました。一日も早く中学校に慣れ、明るく元気に学校生活を送るとともに、全校生で優しさと思いやりのあふれる星が丘中学校を築いていって欲しいと思います。















今年度の教育目標

生徒一人一人の健康でたくましい身体、個性を生かした創造的な知性と技能、豊かな心、正しい社会連帯を養い、自己実現を通して持続可能な社会の創り手となることができる人間を育成する。

基本目標

健康で気力のある 生徒を育成する 学力豊かで創造力の ある生徒を育成する 勤労を尊び責任感の ある生徒を育成する 国際感覚に秀で思いやりの ある生徒を育成する

生徒に身につけてもらいたい力は、社会を生き抜いていけるたくましさ、拓く力、そして、思いやりです。また、 コミュニケーションがとりにくい時代だからこそ、真心をもって人と接することを大切にしてほしいと思います。

☆印は、新たに着任した職員です。

	1 年	教科	部顧問	2年	教科	部顧問	3 年	教科	部顧問
学年主任	石川	社会	卓球	芝	技術	弓道	篠原	保健体育	水泳
1組	奥賀	音楽	吹奏楽	☆二丹	保健体育	野球	伊澤	社会	バスケット
2 組	大出	理科	バドミントン	岩田	英語	演劇	矢野	英語	演劇
3 組	川田	英語	バスケット	木下	美術	美術	☆春山	国語	ソフトテニス
4 組	横町	数学	バレー	阿部	国語	合唱	大貫	数学	バドミントン
5 組	篠原	保健体育	バレー	馬場	音楽	合唱	稲富	保健体育	サッカー
6 組	藤田	国語	野球	岩本	理科	吹奏楽	田中	国語	ソフトテニス
7 組	☆田島	社会	美術	沼尾	社会	卓球	雫	社会	バスケット
8組(特別支援)	小森	特別支援	科学				大根田	特別支援	サッカー
副担任	☆小栗	家庭	弓道	瀧井	理科	科学	小菅	理科	◆柔道
11	玉置	英語	バレー	☆山本	国語	水泳	☆喜田村	英語	茶華道
11	石塚	数学		☆田渕	数学		☆伊藤	理科	剣道
"				野宮	かがやき		秋成	英語	

校長	田中	理科		副校長	永井	国語		主幹教諭	☆田巻	数学	◆陸上
事務長	野中			養護教諭	水井		(美術)	栄養教諭	☆高山		
学習指導主任	松本	数学	剣道	生徒指導主事	宮田	数学	ソフト テニス	進路指導主事	星野	家庭	茶華道
まちかどの学校	鈴木	家庭		まちかどの学校	伊澤	数学		スクールカウンセラー	林		
学校図書館司書	大谷			学校業務	稲生			メンタルサホ゜ーター	☆若林		
ALT	マシュー			初任研指導	☆塩谷	理科		初任研指導	☆小松崎	家庭	
ΑLΤ	☆シェルドン			◆印は、学校には部はありませんが、大会にのみ引率しているものです。							_

新年度のスローガン

「 気づく つながる 創り出す

現在、世の中は、国際化や技術革新等により大きく変化しています。これからお子様たちが、社会人として迎える世の中は、さらに変化しているでしょう。そうした社会で生活する中では困難な壁にぶつかることもあるかもしれません。そんな時に乗り越える力、切り拓いていく力を養っておくことが必要です。

また、現在SDGs(持続可能な開発目標)が叫ばれており、世界の国々、企業、自治体が数々の取組を行っています。学校でも、既に取り組んではいますが、今年度は、このSDGsを更に意識して取り組んでいくことにしました。具体的には、生徒会の専門委員会ごとに、自分たちで何ができるのかを考え、実践してまいります。そうした取組を積み重ねることで、将来の持続可能な社会の創り手となる事ができる子どもたちを育んでいきたいと考えています。

困難な壁を乗り越えるのも、このSDGsの活動をするのも、現実に<u>気づき</u>、学習で身に付けた知識を<u>つなぎ</u>合わせて、どうしたら課題を解決できるか考え、<u>創り出す</u>活動、「気づく、つながる、創り出す」という課程が必要です。そうしたことから、この言葉を、今年度の学校スローガンとして、様々な活動を通して、乗り越える力、拓く力を身に付けさせたいと考えています。

SUSTAINABLE GOALS



本市では、社会総ぐるみによる人づくりに向けた機運醸成を図るため、社会全体が一体となった人づくりの取組を促す合言葉を設けています。保護者の皆さん、地域の皆さんのご協力をお願いいたします。



社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」

大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます~
宇都宮市・宇都宮市教育委員会